

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(生)甲第72号	氏名	滝川雄
学位審査委員	主査	宮原末治	
	副査	黒田英夫	
	副査	松永昭一	
	副査	喜安千弥	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>滝川雄氏は、平成10年3月佐世保工業高等専門学校専攻科電気電子工学専攻を卒業し、同年4月長崎大学大学院生産科学研究科博士前期課程電気情報工学専攻に入学した。その後、平成14年3月に長崎大学大学院博士前期課程を修了し、同年4月長崎大学大学院生産科学研究科博士後期課程システム工学専攻に進学し、現在に至っている。</p> <p>同氏は、長崎大学大学院に入学以前から、オフライン手書き文字認識における識別精度向上に関する研究に従事してきている。そして、入学以降は「オンライン筆者識別における識別精度向上に関する研究」に従事し、現在までに3編の論文を発表している。その成果を平成17年12月に主論文「オンライン筆者識別における識別精度向上に関する研究」として完成させ、参考論文3編を添えて、長崎大学大学院生産科学研究科教授会に博士(工学)の学位を申請した。</p> <p>長崎大学大学院生産科学研究科教授会は、平成17年12月21日の定例教授会において論文内容の要旨を検討し、本論文を受理して差し支えないものと認め、上記の通り審査委員会を選定した。学位審査委員は主査を中心に論文内容について慎重に審議し、公開論文発表会を行わせると共に、口頭による最終試験を行い、論文の審査及び最終試験の結果を平成18年2月15日研究科教授会に報告した。</p> <p>提出論文は、サインによる個人認証、特にオンライン筆者識別に関する新しい試みとして、座標情報やペン角度等による識別率への影響についての検討や、パターンの変形情報の利用、改良型CAPおよびストローク単位での識別法を提案するものである。これはいずれもオンライン筆者識別において問題とされる学習パターン数の不足や、書き癖による個人内変動に起因する識別率の低下を回避し、オンライン筆者識別の識別精度を向上させるものである。</p> <p>以上のように、本論文は、情報処理の発展に貢献すること大であり、博士(工学)の学位に値するものと判断した。</p>			